

目指す児童像 『自分で考え、よりよい判断ができる子ども』

年度初めの行事や取組がたくさんありました

4月10日(水)、令和6年度入学式を挙行了しました。67名の新1年生をむかえ、全校児童406人となりました。これからの学校生活を送るにあたって1年生に「優しい子」「たくましい子」「かしこい子」になれるよう頑張してほしいことを話しました。

また、代表児童からは歓迎の言葉が送られました。

しばらくはドキドキの学校生活だと思いますが、少しずつ慣れていってほしいと思います。

4月16日(木)、火事を想定した避難訓練をしました。児童・職員あわせて約400人が3分以内に避難を完了できました。自分の命も他の人の命も守るため、自分勝手な行動をしないことが大切だという話をしました。

4月17日(水)、1年生の給食が始まりました。給食は食育の一環であるとともに、当番活動を通して自分の役割への責任やみんなと協力することを学ぶ機会となります。

4月18日(木)、5・6年生対象の長崎県学力調査(国語・算数、6年生は理科のみ実施)、6年生対象の全国学力学習状況調査(国語・算数)がありました。これらの調査は、子どもたちがどのような学習に対して得手不得手があるのかを見取り、よりよい学びを提供するための一助とするものです。また、高学年で実施されますが、そこに至るまでにどのような力を伸ばしていくことが必要なのかを見取ります。

4月19日(金)、1年生を迎える歓迎集会が開かれました。担当した子どもたちを中心に、温かい雰囲気ではじめました。その後、県立総合運動公園への遠足でした。天候もよく楽しい1日を過ごせたようでした。



慣れ始め

運転免許を取得したばかりのころは、運転することが楽しくあったとともに緊張感をもってハンドルを握っていたように記憶しています。しかし、徐々に運転に慣れるにしたがい、いささか横着な運転になってしまいがちだったことも覚えています。そのようなときに限ってヒヤリとすることも多かったと思います。

新学期が始まって2週間、新しい環境に慣れてきたときだからこそ自分を客観視することが必要かなと思っているところです。